

新聞

岩木山

発行者 拓光園グループ

総合施設長 工藤 敏夫

弘前市大字百沢字東岩木山2628

電話 0172-96-2331

編集 拓光園新聞係



新年度を迎えて

拓光園グループ

総合施設長 工藤敏夫

昨年8月、拓光園開設40周年を迎え、11月に開催された拓光園祭において記念の式典を行うことができました。また、併せて記念誌「じよっぱり」も発刊することができ、ご協力をいただいた関係の皆様へ、改めて感謝を申し上げます。平成27年度も新たな気持ちで事業を進めることとしておりますので、引き続きご指導、ご鞭撻をお願いできればと考えています。

昨年、利用者の地域生活を更に拡充することを目的として、グループホーム1棟を新たに建設し、12月に完成することができました。4月からは新しい入居者の利用が始まり、現在グループホーム4か所、24人の皆さんの地域生活を支援しています。拓光園入所利用者とともに、「あずましい」生活をしていただくために、今後もしっかり支援していくこととしています。

平成27年度報酬単価の見直しがされ、これまで以上に事業運営が厳しい状況になる事が予想されます。福祉サービスを取り巻く環境が、目まぐるしく変化する中で、事業者として忘れてはならないのは、「利用者本位の支援」のために、一貫して取り組んでいくことであると考えています。制度がどのように変化しようと、そのことによって利用する皆さんが困ることがあってはならない。このことは、我々事業者が常に念頭に置いて取り組むべきことであると思います。

利用者の高齢化に伴い様々な対応が求められる等、利用者支援の面でも課題が山積していますが、拓光園グループを利用するすべての皆さんが、将来にわたって安心して利用し生活できるよう、その体制をしっかりと整え、より良質なサービス提供のために努力していきたいと考えています。

今後とも、拓光園グループへのご理解とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

拓友会総会

弘前公園の桜がちょうど満開となった4月24日（金）、平成27年度拓友会総会が36家族42名（委任状48通）の会員の参加のもと、弘前文化センターにて開催されました。始めに拓友会会長の工藤幸造様より、昨年11月に行われた拓光園開設40周年記念式典を会員の皆様のご協力により無事に終わられたことと、本日の総会に参加していただいたお礼を述べられました。次に七峰会理事長の大平和夫より昨年拓光園のトイレ改修工事を行ったところ、利用者からも使い易くなったとの声が聞かれ、これからは利用者一人ひとりの生活の充実に向けて精一杯のご支援とご協力をお願いが述べられました。また、拓光園グループ総合施設長の工藤敏夫からは、今後も利用者と家族にとって幸せでいい生活を確立できるように努めていくことが話されました。

その後、議長の選任では、齋藤光正様が選出され、議事が行われました。まず、花田慧様より平成26年度の監査報告があり、その後議案審議に入りました。第1号議案「平成26年度事業報告並びに収支決算について」、第2号議案「平成27年度事業計画(案)並びに収支決算(案)について」、第3号議案「任期満了に伴う役員の改選(案)について」が、それぞれ拍手にて承認され、無事終了しました。

（総括主任 工藤雅治）



弘前さくら祭り見学

4月24日（金）、弘前さくら祭り見学が行われました。例年であれば開花間もない頃ですが、今年は暖かい日が続き当日の弘前公園は満開の桜が咲き誇っていました。

弘前文化センターに到着すると、拓友会総会参加後の家族の皆さんと一緒に弁当を食べました。家族と一緒に食べるお弁当の味は格別なのか、普段以上にご飯を頬張る姿が印象的でした。

昼食後は家族と出かけたり、ユニットメンバーと買い物やお花見を楽しみました。ちょうど見頃の桜を見て「きれいーい！」「桜はやっぱいいな～」と感動する方もいれば、出店の食べ物に夢中でまさに”花より団子”な方もいらっしゃいました。買い物はイトーヨーカドーとロックタウンに分かれて出かけ、お小遣いと相談をしながら真剣に買いたい物を選び購入する姿が見られていました。

バスとタクシーに揺られて拓光園に戻り、「今日は楽しかった」「来年も行きたいなあ」と皆さん満足そうに感想を述べていました。

家族の皆様のご協力のおかげで今年度最初の行事が無事に終わりました。ありがとうございました。

（生活支援員 小嶋みく）

新着任・異動職員紹介

4月より拓光園で働き始めた新着任職員3名と他施設からの異動職員3名を紹介いたします。



古川 智也（こがわ ともや）

＜1番ユニット所属＞

□社会人としての第一歩を迎えられることを本当に嬉しく思っています。今後の抱負として、積極的に行動し何事にもチャレンジする姿勢を忘れずに取り組んでいきたいと思っています。一日でも早く仕事を覚えられるように頑張りますのでご指導のほどよろしくお願ひします。



瓜田 怜也（うりた れいや）

＜2番ユニット所属＞

私が七峰会に就職して高卒で何も知識がなく職員の皆さんに迷惑をかけている状況です。少しでも早く仕事に慣れて、一人前の職員になれるように頑張ります。



船木 恭佳（ふなき きょうか）

＜10番ユニット所属＞

高校を卒業したばかりで全く経験などが無いのですが、先輩方を見習って日々成長していきたいと思っています。迷惑をかける事もあるかもしれませんが頑張りますのでこれから宜しくお願ひします。



山田 紗綾（やまだ さあや）

＜4番ユニット所属＞

拓心館グループから異動になりました、山田紗綾です。利用者さん一人ひとりの名前を早く覚え、皆さん一人ひとりの幸せのために支援していきたいと思っています。これからよろしくお願ひします。



工藤 暁子（くどう あきこ）

＜7番ユニット所属＞

サンアップルグループ、グループホームわかばから異動してきました、工藤です。色々ご迷惑をおかけすることと思いますが、一日も早く仕事を覚えたいと思っていますので宜しくお願ひします。



花田 敦（はなだ あつし）

＜看護職員＞

サンアップルホームグループから異動になりました、花田です。一日にでも早く職員の皆さん、利用者の皆さんに花田にだったら安心してお任せできると言われ、感じてもらえる看護師になれるよう日々の業務等丁寧に行っていきたくです。どうぞよろしくお願ひします。

これから、よろしくお願ひします！

4月1日に他施設へ異動した職員のお知らせです。

- ・生活支援員 毛内智恵
- ・生活支援員 佐藤美和子
- ・看護職員 進藤久美子

- 拓心館グループへ
- サンアップルホームグループへ
- サンアップルホームグループへ

トイレ改修工事

昨年10月より約2か月をかけて全ユニットのトイレの改修工事を行いました。以前のトイレは段差があり、床が大変滑りやすく利用者さんの転倒のリスクが大きいものでした。また、和式トイレも高齢の利用者さんの足腰には大変な負担がかかっている状態でした。工事中は利用者の皆さんにはご不便をおかけしましたが、皆さんとても協力的でした。

待ちに待った新しいトイレは段差がなくなり、床の滑りやすさも軽減されました。和式トイレは無くなり、代わりに手すり付きの洋式トイレが2か所作られました。その内の1か所には両脇に手すりが付けられ、これまではポータブルトイレに座っていた利用者さんも安全に使用できるようになりました。利用者さんからは「使いやすい」との声が聞かれ、自立支援にも大きく役立っているようです。

これからも利用者さんが安全にトイレを使用できるよう支援していきます。

(生活支援員 小嶋みく)



ご逝去のお知らせ

昭和52年より共に生活を送ってきた中野清一さんが2月5日に、同じく昭和52年より共に生活を送ってきた工藤秀子さんが4月15日にご逝去されたことをご報告いたします。安らかにご永眠されますことを心よりお祈り申し上げます。

合掌

今後の予定

- | | |
|--------|-----------------------|
| 6月7日 | 運動会 |
| 28日 | 西地区レクリエーション |
| 7月3～5日 | 私たちの作品展
(弘前文化センター) |
| 12日 | 愛の広場 |

編集後記

青葉が目に眩しいこの頃、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

新年度が始まり、拓光園に新しい風が吹き始めました。今年度も利用者さんの日常や行事の様子などを新聞「岩木山」を通して伝えていきます。

(新聞係一同)